

◎ポラス、城北・城西で戸建用地仕入れ強化

―成増5棟は即完、年間100棟目指す―

ポラスグループの中央住宅は、東京の城北・城西地域で戸建住宅の用地仕入れを強化する。2年半前に営業所を開設後、販売は順調で、10月には板橋区成増の5棟が即日完売した。当初目標の年間60棟を達成できる見込みで、さらに上積みし100棟をうかがう。現在、板橋区と練馬区で用地を仕入れ済みで、今後は中央線沿線の杉並区や中野区へとエリアを拡大していく方針だ。

同社は都内の戸建分譲の営業拠点として10年前に錦糸町の「東京営業所」、2年半前に成増の「東京西営業所」を開設。成増では地域密着の活動を展開し、相続対策で発生した用地などを地元不動産会社から仕入れている。これまでに約150棟が成約済みだ。供給する物件は中央住宅としては高級物件となり、成増で即日完売となった物件は5000万円後半から6000万円前半。都心勤務者などをターゲットとする。販売は順調であるため仕入れのペースを今後上げる。

成増の物件は東京メトロ有楽町線・副都心線・成増駅徒歩5分、東武東上線・成増駅6分に位置。「成増なごみの邸」と名付け、和モダンをテーマに1棟ごとに異なるデザインを施した。100件を超える問い合わせがあり、即日完売となった。うち2棟で抽選となり、倍率は2倍だった。竣工は来年2月の予定。今夏には吉祥寺に近い西武新宿線・武蔵関駅徒歩10分でも3棟を販売した。成増第2弾となる4棟を成増駅徒歩3分圏で予定しており、12月に販売を開始する。また、練馬区南大泉エリア（武蔵関駅徒歩15分前後）では、3現場計23棟を計画、来春に販売する計画だ。モデルハウスの開設も準備している。